

令和7年度大分県議会ユースモニター

第二回意見交換会

表紙でご紹介した大分県議会ユースモニター第二回意見交換会の様子を紹介します。

「若年層にとって暮らしやすい県にするには」をテーマに、広報委員の議員と意見を交わしました。9月に開催した第一回意見交換会で多く意見がでた「働きやすい大分県」及び「暮らしやすい大分県」2つのテーマに焦点をあて、モニターに意見を伺いました。

①働きやすい大分県

○職業を選択した(する)ときに重視した(する)ことは何ですか？



- ・地元や馴染みのある土地で働く安心感や勤務地を重視
- ・やりたいことができる職場、社会貢献や地域活性化に関わる仕事をしたい
- ・家族や友人の近くで助け合える環境や、勤務時間・賃金などの福利厚生とワークライフバランスを重視
- ・大分県を盛り上げたい、地元貢献したいという強い思いが決め手
- ・そこで働くイメージが湧くこと



県外でも大分の企業説明会があり、企業を知る事ができた
県外の大学に在学中、大分で働く方がわざわざ大学まで来て仕事紹介をして
「ぜひ大分に帰ってきて」と声をかけてもらったことがきっかけ



○どのような職場であれば働きやすいと感じますか？

- ・カスタマーハラスメントの問題は深刻なため、県としての対策や支援が必要だと思う。また、カスタマーハラスメントの減少は、精神面での働きやすさの向上にも繋がる。
- ・県外に出た友人と話すと、「規模の大きい仕事に挑戦したい」「キャリアアップしたい」という強い希望を持っていることが多く、優秀な人材が都会に流れているのではないかと感じる。そこで、産官学が連携した取組を通じて大分県を盛り上げる後押しができれば、地域の活性化につながると期待する。



②暮らしやすい大分県

○みなさんにとって「暮らしやすさ」とは何ですか？ 実現するには、どうしたら良いと思いますか？

- ・暮らしやすさは、「移動のしやすさ」。生活の質に直結しており、交通アクセスの改善や車購入支援などを検討してほしい
- ・プロスポーツの応援等地域で一丸となって盛り上げると地域が活性化と思う
- ・専門性の高い人材が定着しやすくなるよう、教育機会を充実させること
- ・子育て支援の充実やSNSを活用した制度の認知度向上



○終了後感想○

こういう場は問題意識を持った若い方が来るので、今後も継続してほしい。2回を通して広報委員の議員の顔も知り、少し親近感が湧いたので、定例会や議案等に今後も注目していきたい。とても充実した会だったと思う。